



OEKO-TEX®年次報告書

2021 / 2022

信賴 安全 持續可能性
SINCE 1992

サステナブルな 未来へ



Georg Dieners
ゲオルク・ディナーズ
OEKO-TEX®事務局長

読者の皆様へ

OEKO-TEX®は、30年前に設立されました。企業や消費者が責任ある決断を下し、将来の世代に地球を引き継ぐことができるようにすることを理念として来ました。この初期衝動は、現在、かつてないほど緊急性を帯びています。国際社会が健康、政治、経済の諸問題に直面するなか、気候変動はますます進行しています。

このような背景から責任ある意思決定を可能にするためには、透明性のあるコミュニケーションと信頼性が必要です。OEKO-TEX®では、外部の視点を積極的に取り入れて、2022年3月にステークホルダーとの公開協議を実施しました。そこで得られた総合的な見識は、OEKO-TEX®規格やサービスの開発プロセスに統合・反映しています。また、国際諮問委員会も毎年開催しています。国際諮問委員会は、ワーキンググループに提議を行い、規格の改善をさらに促進しています。

OEKO-TEX®共同体では、17の独立した試験機関が最新の科学的知見に基づき、緊密かつ一貫して取り組んでいます。ラウンドロビン試験については、OEKO-TEX®規格の品質と比較可能性を確保するための重要な手段であり、同一のサンプルを世界的に標準化された同一の試験方法で試験し、試験機関間の比較を行っています。加えて、昨年度は規格のフィードバックシステムを充実させました。

気候変動に対する最も重要なアクターは国際的コミュニティです。2022年春、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、現行の国連気候報告書を発表しました。そこで1600の潜在的なシナリオが8つのカテゴリーに分類されており、うち2つのみが楽観的な内容です。目標は前向きな発展を実現することと、2030年までにパリ協定に基づき地球温暖化を産業革命以前の気温から1.5°Cに抑えることです。またこの国連気候変動報告書は、再生可能エネルギーの最大限の拡大による大気中の二酸化炭素温室効果ガスの排出削減の同時対策についても言及されています。2022年春、欧州委員会は産業界の排出ガスに関する規制をアップデートしました。主な変更点は、産業プラント許可の厳格化、循環型投資とエネルギー効率の促進、イノベーションリーダーへの支援強化などです。

OEKO-TEX®はこのような課題を抱える業界をサポートすべく、2022年1月にインパクト・カリキュレーター（Impact Calculator）を導入しました。これはSTeP認証を受けた製造施設が、CO2の排出量と水の消費量を削減するのに役立ちます。2022年後半には、RESPONSIBLE BUSINESS by OEKO-TEX®を発表し、来るべきデューデリジェンス法への移行を目指す企業をサポートする予定です。皆様に興味を持って読んでいただけることを祈りつつ、ご提案やアイデアを楽しみにしています。

ゲオルク・ディナーズ

創造価値



信頼性

信頼は、行動の基本です。
私たちは科学を信頼します。

OEKO-TEX®は、独立した科学的専門家集団の国際ネットワークです。試験と認証は、明確で一貫性のある評価基準を用いて行いますが、この評価基準は公表しています。

安全性

30年にわたり、企業や消費者が自信を持って意思決定できるようサポートしてきました。

信頼性の高いソリューションを通じて、製品と人の安全性を推進します。企業やその従業員、消費者やその家族に至るまで、すべての人に認証された製品とプロセスを信頼いただけます。

持続可能性

独自の科学的手法で、持続可能な未来にインスピレーションを与え、形にしていけます。

革新的なプロジェクトにおいて、積極的なマインドセットと進歩的なアプローチで、積極的にソリューションを提供するパートナーでありたいと考えています。

透明性

サステナビリティの鍵は透明性だと考えています。

持続可能な未来に向けた取り組みは、透明性のある現状と密接に関係しています。最高の基準を設定し、それをオープンにすることで、企業や消費者の皆様にもぜひご協力いただきたいと思います。

持続可能な開発目標 (SDGs) をサポート

持続可能な開発目標である2030アジェンダは、より良い、より持続可能な未来を実現するための青写真を提示しています。SDGsの17の目標は、行動への明確な呼びかけを形成しています。OEKO-TEX®は規格とイノベーションを通じて、産業界と社会が行動によって世界を変革していく道筋をサポートします。



17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS



パートナーシップで目標を達成しよう

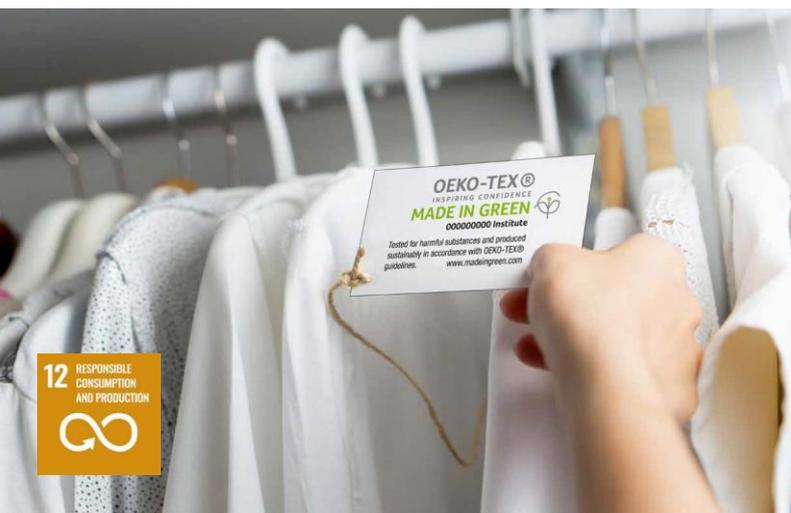
私たちは、持続可能な基準と行動を調和させるために、第三者と交流し、協力合っています。国連、OECD、持続可能なテキスタイルパートナーシップ、ZDHCなどのプロジェクトといった多岐にわたる国際的な利害関係者・イニシアチブに参加しています。

人や国の不平等をなくそう

公正な賃金、労働時間、人種、出身、障害、宗教、性的指向、民族の差別のない労働者の平等な処遇、それが私たちの目指すものです。



10 REDUCED INEQUALITIES



12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION



つくる責任 つかう責任

MADE IN GREENラベルは、サプライチェーンの透明性と追跡可能性を高めることで、消費者に責任ある消費を促しています。STeP認証は、環境に配慮した生産工程の長期実践を保証するものです。

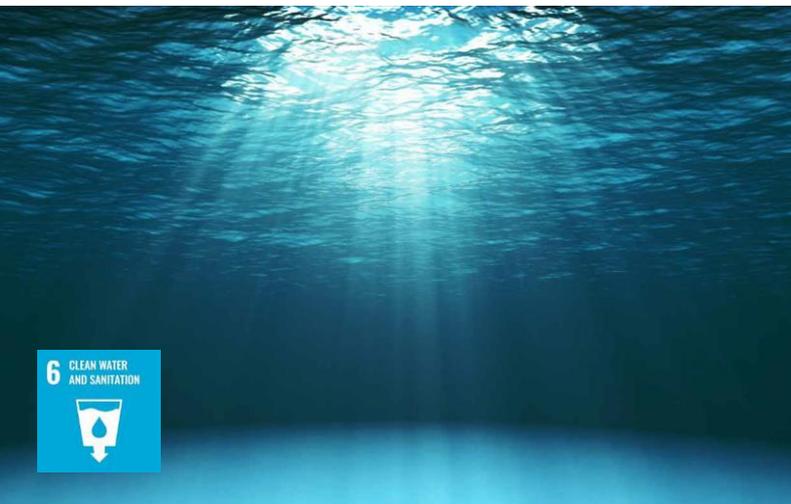


すべての人に健康と福祉を

STeP認証には、職場の安全、衛生、医療要件、社会保険が義務づけられています。OEKO-TEX®ラベル付き商品は、有害物質に関する広範な製品試験を実施し、消費者への安全性を確保しています。

ジェンダー平等を実現しよう

OEKO-TEX®認証では、ジェンダー平等を基本条件としています。当社の行動規範は、国連グローバル・コンパクトの10原則とILO労働基準に関連しており、全従業員が積極的に関与できるよう配慮しています。



安全な水とトイレを世界中に

STeP認証は、化学物質の管理と廃水の品質を監視し、最適化することで、新たな需要に迅速に対応し、危険な化学物質や未処理の廃水を防ぐための施設を支援します。

気候変動に具体的な対策を

STeP認証は、生産プロセスの包括的な分析と評価を行い、サプライチェーン全体におけるベストプラクティスの導入、効率の向上、二酸化炭素排出量の削減を支援します。STeP認証に統合されたインパクト・カリキュレーターは、二酸化炭素排出量と水の使用量を測定し、報告することができます。OEKO-TEX®では、出張時は鉄道か飛行機利用のCO2を再生可能エネルギー施設への投資を通じて相殺するプロジェクトを利用しています。



ハイライト 2021 / 2022.



創立30周年を迎えた

OEKO-TEX®

OEKO-TEX®は30年来、企業や消費者と信頼を築き、人と地球を守るための責任ある決断を可能にするという目標を追求してきました。OEKO-TEX®事務局長ゲオルク・ディナースは、「OEKO-TEX®の認証によって、繊維・皮革産業の国際的なサプライチェーンに透明性をもたらされます」と述べています。「この認証によって、すべての利害関係者が、次世代に地球を引き継ぐために必要な、心に響く意思決定を行うことができます」と述べています。

利害関係者協議会

2022年3月利害関係者協議会を実施しました。

OEKO-TEX®利害関係者協議会の目的は、OEKO-TEX®の規格設定プロセスに利害関係者が参加できるようにすることです。協議結果の概要と次のステップについては、OEKO-TEX®共同体ホームページで公開します。

[詳細はこちら](#)



認証取得製品



1,000以上の有効認証

36,084

今会計年度には110カ国以上で認証書とラベルが発行されました。これは2020年/2021年と比較して+14%です。



インパクト・カリキュレーター の開始

インパクト・カリキュレーターは2022年1月に開始され、STeP認証への統合に成功しました。このツールは、カーボンフットプリントとウォーターフットプリントを施設単位で測定し、STeP認証施設の環境マネジメント及びパフォーマンスの向上に役立ちます。

インパクト・カリキュレーターについては、P9をご覧ください。



規格別ハイライト



2021 / 2022年度には、新たに93社がMADE IN GREENラベルのオーナーとなりました。これは前会計年度と比較して32%増となります。これらの企業は、消費者が十分な情報を得た上で購入の意思決定を行えるよう、持続可能で安全、かつ追跡可能な製品の製造に注力しています。新しいラベルの発行国は、インドネシア、モルドバ、ノルウェー、ルーマニア、スロベニア、スウェーデン、ベトナムとなります。

製品管理試験

MADE IN GREENの製品管理試験を実施し、ラベルの高い品質を確保しました。



STANDARD 100は、繊維のエコロジーと健康への関心が高まる中、1992年に旧「Schadstoffge- prüft nach ÖTN 100」から発展してきたものです。この認証とOEKO-TEX®共同体の30周年を祝うとともに、認証件数が25,000件に達しました。



LEATHER STANDARDは、より多くの製品認証を取得し、順調に発展しています。昨年比+26%の成長で、認証件数は87件に達しました。

規格別ハイライト



全世界で850以上の生産施設がSTeP認証を取得しており、その中には3つの新しい皮革施設（鞣し加工2、皮革仕上1）が含まれています。



ECO PASSPORTは大きな成長を遂げ、16,000 以上の認証製品に対して1,000以上の有効な認証書を発行して今年度を終わりました。さらに、より多くのお客様が、ZDHC適合レベル1ではなく3へと導くオンサイトビジット（現地監査）を選択されています。現在では、ベーシックオプションよりもオンサイトビジットで認証を受けた製品の方が多いです。

製品管理テスト

2020年にECO PASSPORTの製品管理を実施し、高品質な認証の確保に努めました。2020年 / 2021年には、認証製品のテスト比率を10%から15%に引き上げました。

セルフアセスメントの義務化

2022年春、OEKO-TEX®はECO PASSPORTのセルフアセスメントを2023年4月から義務化することを発表しました。

インパクト カリキュレーター



2022年1月、OEKO-TEX®は「インパクト・カリキュレーター」を発表しました。これは施設向けのツールで、カーボンフットプリントとウォーターフットプリントを測定することができます。

ファッション業界は今こそ、気候変動と水資源について行動を起こす時です。世界的にみてもアパレル業界はCO2排出量や水資源の利用において主要な原因となっており、今すぐ行動を起こす必要があります。

消費者の意識は高まっていて、デューデリジェンス法が多くの政府で検討されています。地球温暖化を1.5°Cに抑えるには、迅速で測定可能な行動を大規模にとることが必要です。また、水に関するリスクは増大していますが、アパレル業界は水への影響の測定とモニタリングにおいて十分なパフォーマンスを発揮しているとは言えない現状にあります。

このことについて、プレッシャーを感じているブランドは、自社のサプライチェーンを把握し、その影響を定量化する必要があります。その結果、120を超えるブランドが国連ファッション産業気候行動憲章に署名しました。“2030年までに水の使用量と二酸化炭素排出量を30%削減する”という業界の目標を達成するためには、生産設備が重要な役割を担っています。

OEKO-TEX®のカーボン&ウォーターインパクト・カリキュレーターの使用により、繊維加工施設でライフサイクルアセスメント（LCA）のスクリーニング、つまり環境パフォーマンスの初期評価を簡単かつ迅速に行うことができます。このツールは基本的でありながら信頼性の高いデータを提供するため、事業者は、加工程序や繊維の種類など、炭素や水に与える影響の主な要因を特定することができます。

Quantis社 シニア・サステナビリティ・コンサルタント
Tereza Léková氏



持続可能な開発目標（SDGs）との整合性



私たちの事業によって、より持続可能な活動を支援し、業界を常に前進させるよう努めます。

OEKO-TEX®はデータギャップを認識したうえで、ライフサイクルアセスメント（LCA）手法のうち最も重要な2つの要素をSTeP認証に盛り込みました。

- 二酸化炭素排出量
- 水使用量への影響

[方法論について詳しくはこちら](#)

OEKO-TEX®共同体

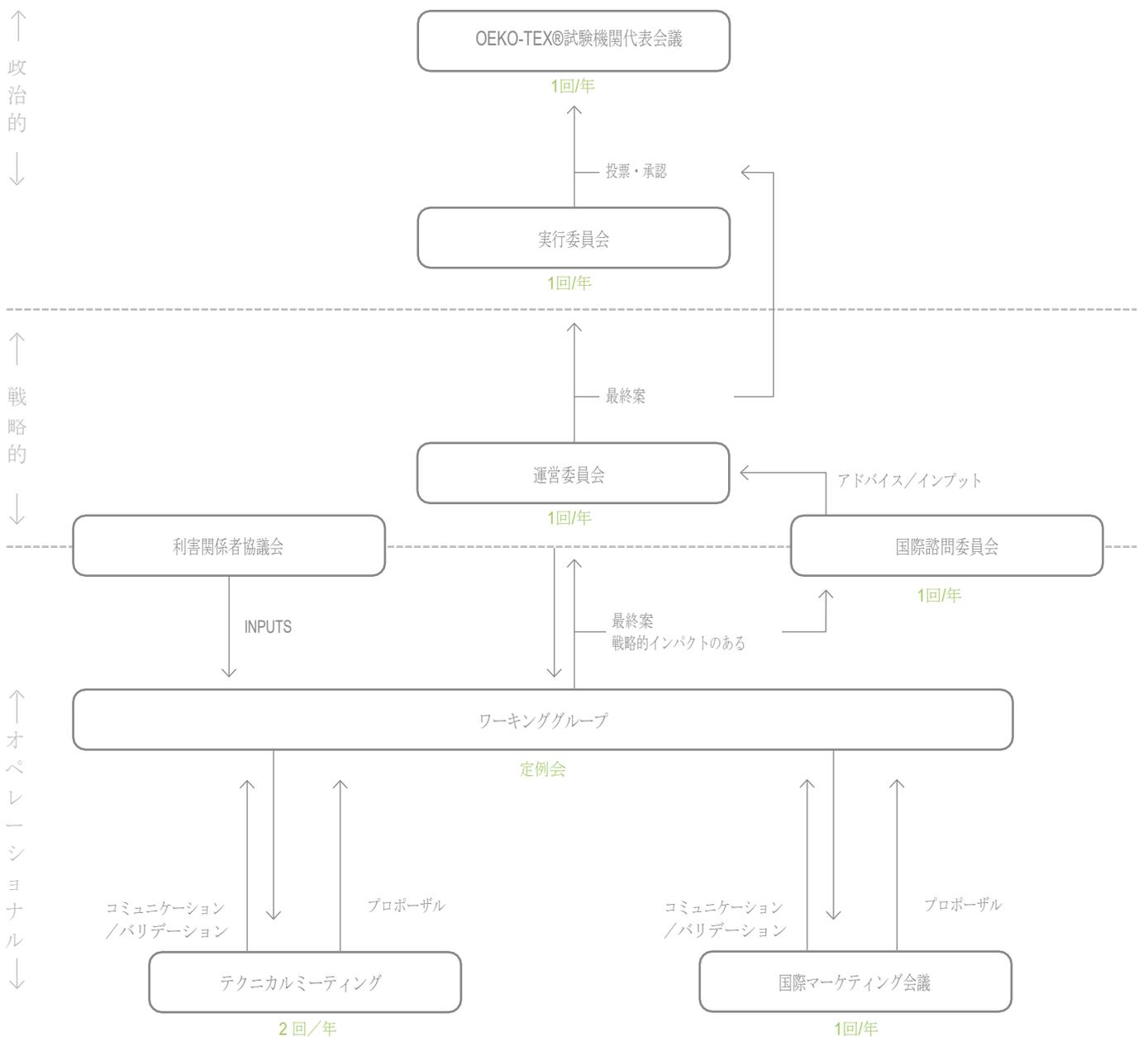
ヨーロッパ、そして日本にある独立した研究・試験機関が連携して、繊維・皮革産業で使用する試験方法を継続的に開発し、規制値を定めています。OEKO-TEX®試験機関とその支所や事務所は、70カ国以上に広がっています。



規格設定プロセス

私たちOEKO-TEX®の根幹にあるのは、認証規格の高い品質を維持することです。技術水準が最高レベルにあることを保証するため、規格は毎年、改訂されます。OEKO-TEX®各種委員会は、世界的規制、科学的データ、産業界の技術などを追跡し、OEKO-TEX®規格の今後のアップデートについて協議を行います。委員会はテキスタイルエンジニア、技術者、化学者、毒物学者、弁護士、社会学者、マーケティング担当者など、分野や国の異なるさまざまな立場の社内外の専門家で構成されています。

このように私たちは、できるだけ多くの意見を参考にできるよう、様々な工夫を凝らしています。幅広い専門知識と協調的な交渉プロセスを通じて、透明性と信頼性という高い要求を満たし、業界をリードする規格を策定します。また、OEKO-TEX®規格設定プロセスでは、利害関係者の参加は非常に重要です。**利害関係者協議会**では、定期的に意見を提案します。**国際諮問委員会 (International Advisory Board)** は、その提案に基づき運営委員会に提言を行います。



パートナーシップ イニシアティブ



外部の意見を取り入れることで、最も重要な視点が私たちの規格に備わるものと確信しています。以下に、私たちの取り組みの一部をご紹介します。

UNECEコットン&レザーブロックチェーンプロジェクト

国連の専門機関や委員会は、社会と環境の領域で数多くのプロジェクトを推進しています。OEKO-TEX®は、繊維と皮革のサプライチェーンにおいて、消費者、ブランド、メーカーがより透明性の高い取引を行えるようにすることを目的に、ブロックチェーン技術による透明性とトレーサビリティに焦点を当てた2つのUN-Multi-Stakeholder Initiatives (MSI) に参加しています。

国際貿易センター (ITC)

OEKO-TEX®はITCのStandards Mapに情報を提供しています (WEBサイトから利用できる市場分析ツール)。これは自主的な持続可能性基準に関する包括的で比較可能な情報を提示し、生産者、輸出業者、バイヤーがより持続可能な生産と取引を行うための能力を強化することを目的としています。共通のテーマや基準で規格を見直し、比較する機会をユーザーに提供するITCを支持しています。

有害化学物質ゼロエミッション (ZDHC)

OEKO-TEX®はZDHCの賛助会員であり、業界の化学物質フットプリントの削減に向けて継続的に協力できることをうれしく思います。

BLab

OEKO-TEX®は、環境保全と社会的福利を事業の中核に据えるというBLabのビジョンを支持しています。インパクトアセスメントを実施し、持続可能な開発目標に優先順位をつけ、BLab 認定団体になることを目指しています。

Partnership for Sustainable Textiles

OEKO-TEX®は、Partnership for Sustainable Textilesのさまざまなイニシアティブやプロジェクトグループに参加し、国産の繊維製品生産における社会的、環境的、経済的条件を総合的に改善することを目指しています。パートナーシップのメンバーは、経験を交換し、解決策を共同で開発し、取り入れることとなります。

SPOOR

レザーのサプライチェーンにおける透明性とトレーサビリティは、業界で最も重要なトピックです。最終消費者は、製品がどこで生産されたのか、原材料はどこから来ているのかを知りたいがっています。SPOORとOEKO-TEX®は、革のサプライチェーンにおいて透明性とトレーサビリティを推進し、より持続可能性を高めるためのパイロットプロジェクトに協力しています。

大学

2018年からOEKO-TEX®は、Academy for Fashion and DesignとHochschule Niederrheinと学術的な談話を行っています。各校から3名の学生を対象としたDeutschlandstipendiumのスポンサーシップを今回も更新しています。社会的責任や持続可能な行動をめぐることは、将来の意思決定者とのかわり合いが欠かせません。奨学生を支援できることは大変喜ばしいことです。

監査による 自信と信頼

OEKO-TEX®試験機関は、規格とお客様を結びつけています。試験機関は、OEKO-TEX®規格を実施・徹底するうえで欠くことのできない存在です。OEKO-TEX®試験機関は世界に17カ所あり、その支所や事務所は、70カ国以上に展開しています。そのため、品質に対する期待値を高めるには、文化的な考え方の違いや継続的な成長が課題となります。

ラボ試験については、各機関の本部でのみ実施します。STeP監査はOEKO-TEX®共同体が実施する研修を受けています。管理試験では市場での製品コンプライアンスを確認し、ラウンドロビン試験では、試験方法と各試験機関が同期して機能していることを確認しています。

試験機関への監査では、人材と工程がOEKO-TEX®規格と価値観に合致していることを確認します。そのため試験機関は3年に1度、OEKO-TEX®共同体事務局による監査を受けています。共同体監査は正式なチェックインの役割を果たし、第三者によるプロセスチェックを行い、OEKO-TEX®共同体のサポートが必要な分野があれば、それを特定します。

さらに、試験機関への監査では、各OEKO-TEX®規格を代表する認証とラベルを無作為に選び、OEKO-TEX®規格に従い、試験プログラム、入手可能な文書、監査報告書、義務のフォローアップ、バリデーションプロセス、請求書について、入手可能性、適合性、精度、コンプライアンスをチェックします。

監査参加者とのオープンな話し合いと対話は、監査の重要な部分です。OEKO-TEX®のプロセスが日常業務にどのように反映されているか、またより幅広いテーマである試験機関認定や内部品質管理、従業員教育、苦情処理、フェアプレールール、汚職防止対策などについても話し合います。

監査報告書には、一定期間内に実施しなければならない義務や、さらなるパフォーマンス向上のための推奨事項やアイデアが含まれています。



28

STePの新規監査人は、第2回バーチャルSTeP監査トレーニングを無事終了

176

OEKO-TEX®共同体に所属するプロのSTeP監査人

6,916

STANDARD 100とLEATHER STANDARDの現地視察を実施
(パンデミック規制のため、1,097件は自己評価)

品質保証



ラウンドロビン試験 製品管理

20

テストラボの参加

34

テストパラメーターの確認

ラウンドロビン試験は、私たちOEKO-TEX®試験機関間の比較を行うものです。これは、規格の測定手順と試験機関の高い品質を確保するための戦略の重要な部分です。同一のサンプルは、各試験機関において同一の試験方法で試験され、その結果は正確さと一貫性のために比較されます。このような重要な品質測定により、認証と信頼できる加盟機関の整合性について確信を持って表明することができます。年1回のラウンドロビン試験への参加は、OEKO-TEX®試験機関の義務であり、OEKO-TEX®認証の品質を保証するうえで欠かせないものです。

OEKO-TEX®の品質保証戦略には、STANDARD 100、LEATHER STANDARD、ECO PASSPORTの各認証製品の管理試験も含まれています。MADE IN GREEN製品を取り入れるプロセスも試行されました。

71カ国、**6,374枚**の認証書とラベル（アジア68%、EU25%、その他地域7%）

25%のSTANDARD 100とLEATHER STANDARD認証、5%のECO PASSPORT認証、25%のMADE IN GREENラベル付与製品を検査

小売店や監査で採取したサンプル**11,091個**

ランダムサンプルの**89%**が認証確認

管理機関で不合格となった認証保持者には通知され、規格への準拠を証明し、要求事項の完全な実施を確認するために新たなサンプルの提出を求めます。不合格が続いた場合や、協力を拒否した場合は、認証が取り消されることがあります。

数字で見る OEKO-TEX®

認証書、ラベルの発行数

	2020 / 2021	2021 / 2022	
STANDARD 100 by OEKO-TEX®	24,703	27,428	+ 11%
MADE IN GREEN by OEKO-TEX®	5,840	7,198	+ 23%
LEATHER STANDARD by OEKO-TEX®	69	87	+ 26%
STeP by OEKO-TEX®	244	356	+ 46%
ECO PASSPORT by OEKO-TEX®	840	1,015	+ 21%
TOTAL	31,696	36,084	+ 14%

認証書、ラベルの世界的な発行状況

2021 / 2022	発行数	構成比
アジア	20,994	58%
西ヨーロッパ	9,896	27%
中近東	3,026	8%
東欧	984	3%
北アメリカ	663	2%
アフリカ	279	1%
中南米	215	1%
オセアニア/オーストラリア	27	0%
TOTAL	36,084	



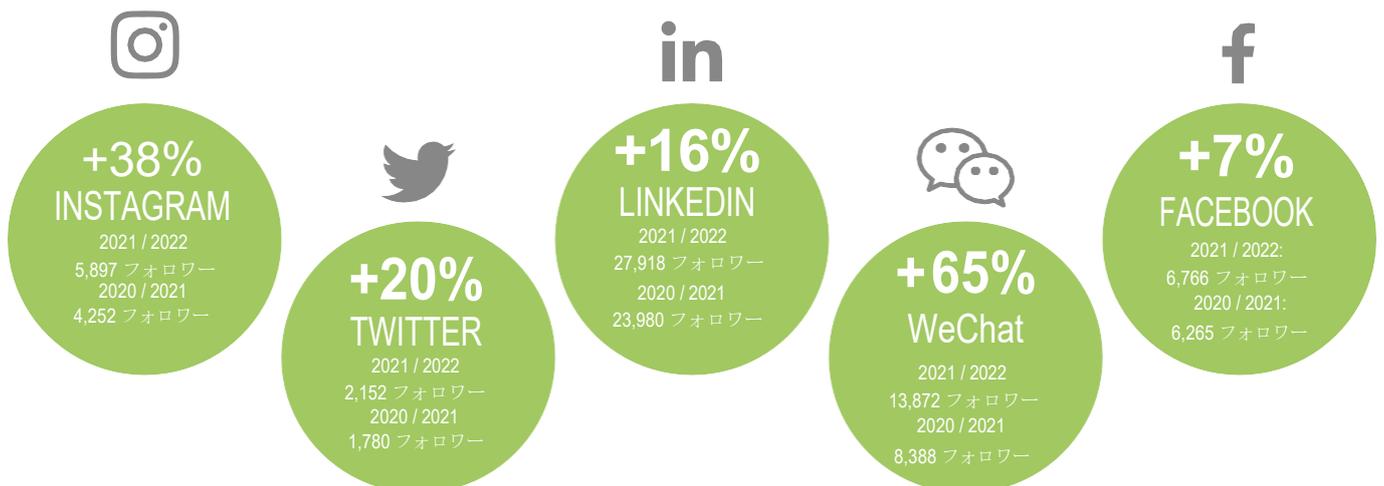
ウェブサイト

OEKO-TEX®は繊維と皮革のサプライチェーンにおいて透明性を高め、消費者を保護し、関係者全員の安全と信頼をより確かなものにするために、常に努力を重ねてきました。OEKO-TEX®は、ウェブサイトのユーザーエクスペリエンスを向上させることに重点を置いています。データ分析を用いて継続的に改善し、利用者のニーズに適応できるように努めています。ユーザー数およびページビューの獲得状況をご報告いたします。



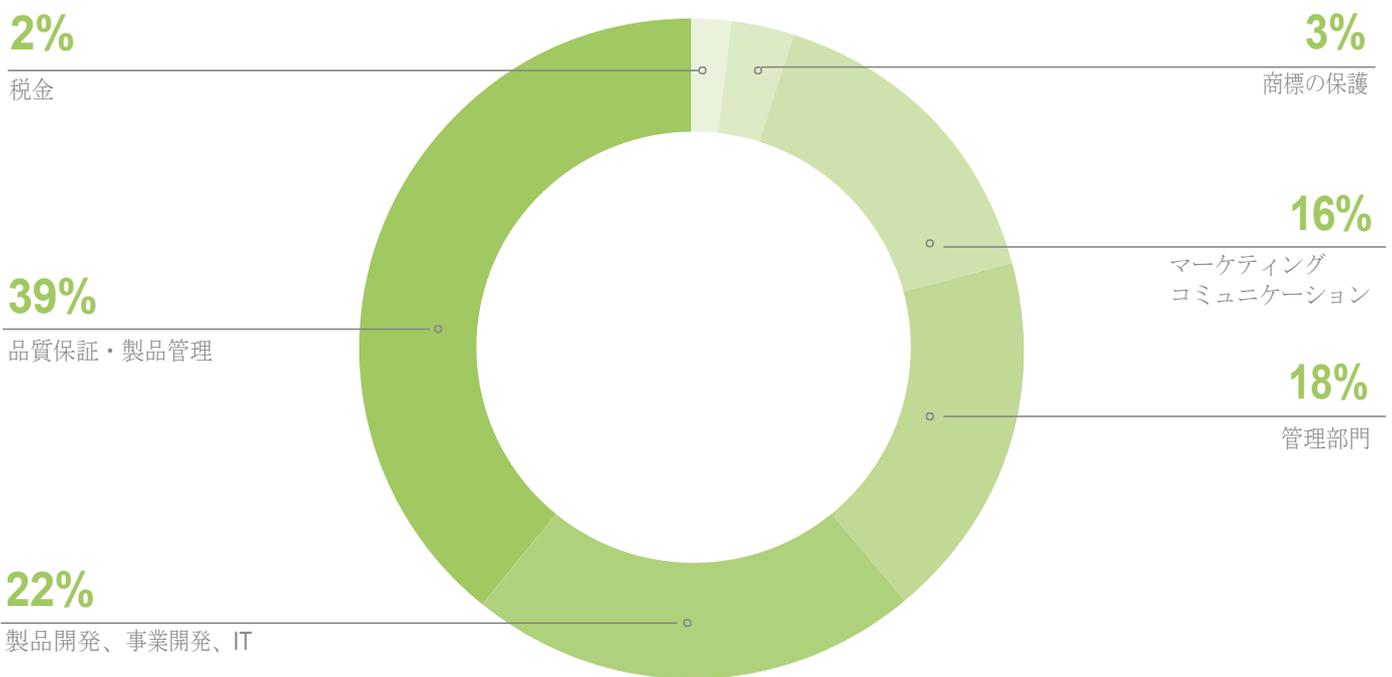
多岐にわたる ソーシャルメディア

OEKO-TEX®は、重点的なソーシャルメディア戦略を用いてターゲットオーディエンスの取り込みを図り、KPIの健全な増加を達成しました。また、ソーシャルメディアにおけるプレゼンスをさらに高め、若年層をターゲットにするため、OEKO-TEX®はグローバルなインフルエンサーとの提携に成功しました。



支出概要 品質へのこだわりを明確に

OEKO-TEX®の運営は、認証登録費でまかなわれています。



発行

OEKO-TEX®国際共同体

Genferstrasse 23

CH-8002 Zurich (スイス)

電話番号 +41 44 501 26 00

info@oeko-tex.com

www.oeko-tex.com

事務局長：ゲオルク・ディナース

